

週間漁海況情報 2020年第17号

令和2年4月28日発行

第18号は5月12日(火)の発行となります。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

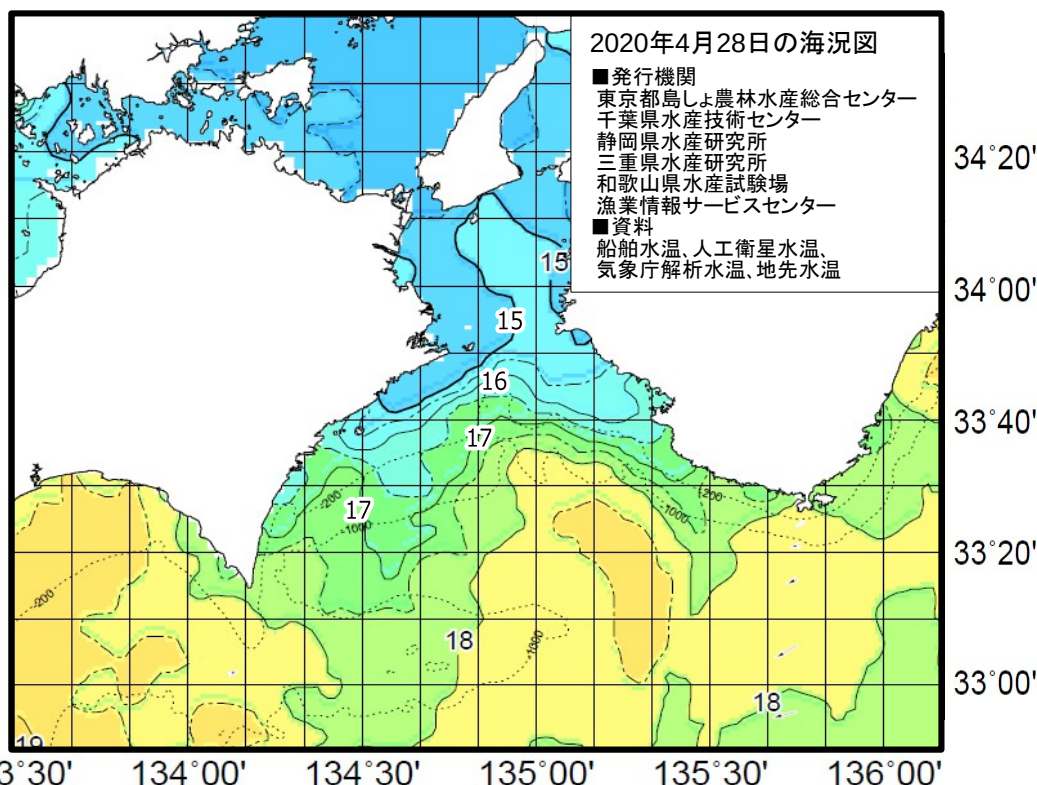
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は20℃～21℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘は14℃台、紀伊水道は徳島側はおおむね14℃台、沖合で15℃台、海部沿岸は14℃～16℃台となっている。

海部沿岸は内海系冷水優勢の状態が続いている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

(いずれも正南方向)

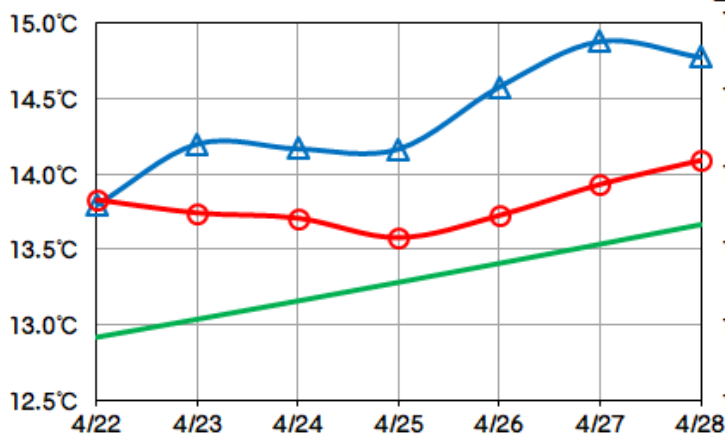
直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

2. 地先水温(2020年4月22日~4月28日)

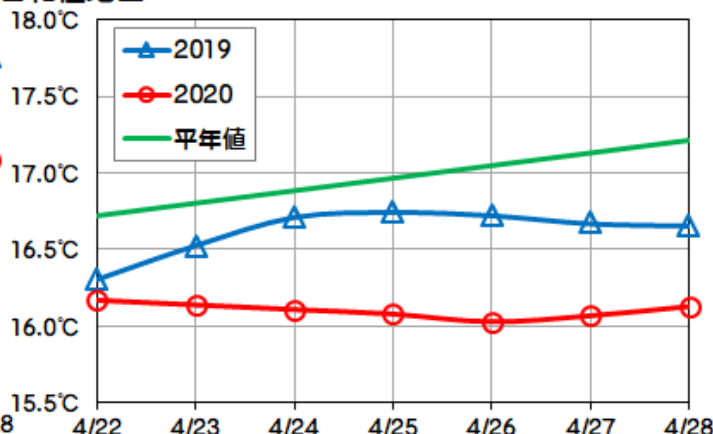
鳴門地区の水温は「やや高め」のち「平年並み」の13.6℃~14.0℃で推移した。

日和佐地区の水温は「やや低め」の16.0℃~16.2℃とほぼ横ばいで推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(4月29日~5月12日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも引き続き「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温は「平年並み」、日和佐地区の水温は「やや低め」のち「平年並み」で推移する見込み。

紀伊水道の小型底びき網は操業が低調だった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが47.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて2.1ト、タチウオが減って特大主体に0.4ト、アカムツが増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが増えてめじろ級主体に1.2ト、マアジが大きく増えて0.5ト、クロダイが大きく増えて0.5ト、ヒラメが大主体に0.4ト、マダイが増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが0.6ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

小型定置網では、いわし類がマイワシ小小主体に1.4ト、2cm程度のマアジが0.4ト、クロホシイシモチやさば類の小小などのその他の小魚類が0.5ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えてぶり級主体に25.6ト、マアジが増えて特大主体に2.4ト、さば類の小小主体の小魚類が2ト、イサキが大きく増えて特大主体に0.6ト、クロダイが大きく増えて大主体に0.6ト、イシダイが0.3ト、マダイが大きく増えて0.3ト、メジナが大きく増えて中主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	63	シラス	47,250	750		→
	延縄	20	ハモ	2,082	104		↗
		17	タチウオ	424	25	特大主体	↘
		11	アカムツ	201	18		↗
	小型定置網	22	ブリ	1,195	54	めじろ級主体	↗
		19	マアジ	524	28		↗↗
		25	クロダイ	504	20		↗↗
		27	ヒラメ	389	14	大主体	→
		24	マダイ	342	14		↗
海部沿岸	釣り	18	タチウオ	555	31		→
	延縄	24	サワラ	681	28		↗↗
	小型定置網	16	いわし類	1,384	87	マイワシ小小主体	↗↗
		25	マアジ	434	17	小小主体	↗↗
		12	その他の小魚類	507	42	クロホシイシモチ、さば類など	↗↗
	大型定置網	5	ブリ	25,586	5,117	ぶり級主体	↗↗
			マアジ	2,398	480	特大主体	↗
			小魚類	1,954	391	さば類小小主体	↗↗
			イサキ	595	119	特大主体	↗↗
			クロダイ	562	112	大主体	↗↗
			イシダイ	337	67		→
			マダイ	253	51		↗↗
			メジナ	214	43	中主体	↗↗